

2023年度 入学試験 学特入試 I

国 語

※問題は[1]ページから[13]ページまであります。

※マークシートに、受験番号・氏名・性別・科目を正しく記入してください。

※解答は、すべてマークシートに記入してください。

※書き誤りをしたときは、きれいに消してから、新しい解答を書いてください。

学 特 入 試 I	受 験 番 号		氏 名	
-----------------------	------------------	--	------------	--

高崎健康福祉大学高崎高等学校

□ 1 □ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

もちろん二〇世紀の技術革命は、衣食住や交通・通信ばかりでなく、その他の多くの領域でも、われわれの日常生活に大きな影響を及ぼした。そもそも平均寿命が延び、日本社会が急速に高齢化し始めたのは、医学的技術の進歩した結果である。現に私が一九一九年の東京ではなく、一八一九年の江戸に生まれていたら、おそらく世紀末まで生きて一九世紀の自画像などという文章を書いてはいなかったろう。

前世紀よりも、ではなく、人類の歴史の始めから一九世紀の終わりまでの全期間よりも、二〇世紀ははるかに多くの病の予防法と治療法を発見したのである（たとえばいかなる感染症に対しても、二〇世紀の化学療法剤と抗生物質以前には、有効な薬剤がなかった）。

もし「技術」を、与えられた実用的目標（社会的・人間的目標）を達成するための手段の体系と考え、「科学」（自然科学）を特定の目標を離れて世界を理解するための知識の体系とみなせば、医学は本来、病の予防と治療を目的とするから技術的体系である。二〇世紀後半に現われた^{*}分子生物学と遺伝子の分子水準における説明は、本来科学的発見であり、その発見は、世界観に根本的な影響を与える（生物と非生物との根本的な違いという伝統的考え方の否定、因果論的連サの問題領域における確認）と同時に、遺伝子操作という技術をも生み出した。（a）

一般に科学と技術との関係は、しだいに密接となり、今世紀に入ってからにほとんど分かちがたく関連するようになった。「科学技術」ということばは、単に「科学と技術」を意味するのではなく、「科学と結びついた技術」を含意する。科学と結びついた技術の発展は、科学から独

立した伝統的技術の発展よりもはるかに早く、□ I □ その環境を操作する能力がはるかに強大であり、その程度（早さと能力）は、おそらく今世紀の初めにだれも予想できなかったほどである。

かつては熱機関が熱力学を生んだのであって、熱力学が熱機関を生んだのではなかった。しかしいまでは遺伝子操作が分子生物学を可能にしたのではなく、^ア分子生物学が遺伝子操作を可能にしたのである。その状態あたかも核爆弾、さらには原子力発電と核物理学との関係に似ている。

科学技術の早い発達と大きな能力は、人間の社会に対してほとんど常に、二つの可能性を与える。すなわち巨大な恩恵と巨大な破壊である。発達があまりに早いために、いわゆる「技術革新」、新しい科学技術は、第一に、自然環境の体系の全体にそれが及ぼす影響のわからぬうちに、出現する。また第二に、社会がそれをいかなる目的に使用するか適当な決定をくだす用意のないうちに、利用できるものとなる。その結果、新しい手段は、偶然にはなく^B原ソクとして、人間に対しはかりしれない利益とともに途方もない損害（の少なくとも可能性）を与える。（b）

能力が大きいかから、善悪両面がいずれも^C誇チヨウされざるをえない。原子爆弾の製造は、第二次世界大戦中にヒトラー征伐を目的として計画された。ヒトラーの政権が崩壊したのちにも、一度始められた計画は中止されず、爆弾が完成すると、それは広島と長崎に用いられた。^イその悲惨な結果の詳細が、すべて予想されていたのではなかったろう。いわんや、その後核兵器競争の恐怖が続くことをだれも考えてはいなかったに違いない。

社会が核エネルギーの利用の仕方について十分な用意——戦略的、政

治的、倫理的なそれ——を欠いていたときに、核爆弾はつくられた。もちろん核エネルギーは発電のためにも利用することができる。しかし、それには事故の危険も伴う。大きな事故の確率は小さいだろうが、もし起これば、損害は想像を絶する。(c)

抗生物質は細菌感染に有効だが、他面では、耐性の病原菌を増殖させる。その対策は確立されていない。遺伝子操作はある種の病の治療や食糧の増産に役立つだろうが、その他の何がそこから出てくるか。

遺伝子操作は人間のつくり替えに道を開く。現に遺伝病治療への展開は、人間の部分的つくり替えと考えることができる。つくり替えることのできる部分は、どこまで拡大されるか。それが脳にまで及べば、人間はみずからつくり出した技術によって、環境(人間以外の生物)を操作するばかりでなく、それ自身操作の主体そのものを、操作し得ることになる。二〇世紀は羊の「クローン」まで行った。次の世紀はアインシュタインの「クローン」を目指すのかもしれない。

II だが、どういう目的で、どう人間をつくり替えようとするのか、だれにもわからない。その危険は前例のないものである。したがって対策も前例を破って III なものにならざるをえない。

すでに人間の遺伝子操作の研究を制限しようとする動きが開始しているのはそのためである。科学技術の進展は社会がそれを適当に統御しなければ、人間の尊厳と幸福への致命的打撃が予想されるところまできたのである。(d)

人間の脳の主要な機能のなかには、知覚、記憶、計算がある。知覚については人間の能力よりもはるかに鋭敏な「センサー」をつくることのできる。記憶と計算については、「コンピュータ」が人間の記憶力とは

比べものにならない大量の「データ」を蓄え、きわめて短い間に複雑な計算を行うことができる。これこそは二〇世紀の技術革新の最も根本的なものであるかもしれない。

「コンピュータ」によって、人間が機械を使うのではなく、機械が人間に入れ替わる可能性が開かれた。現に「ベルト・コンベヤー」の流れ作業で始まった世紀は、ロボットが工場から労働者を追い出す状況をつくり出した。いまでは脳生理学者(の少なくとも一部)が脳を一種の「コンピュータ」とみなす仮説——それにもさまざまな種類があるが——を議論している。

科学技術は両刃の剣である。そこからどういう怪物が現われるかを知らずにアラジンランプをこすってきた。怪物は人類を救うかもしれないし、破滅させてしまうかもしれない。そのことをしだいに強く意識するようになったのも、今世紀のことである。技術の「進歩」が人間の幸福を約束するという神話の破壊は、一九世紀から二〇世紀を分ける。しかし科学技術の加速的発展を統御する方法を、二〇世紀は発見しなかった。それは今世紀が次の世紀へ先送りした力題である。

(加藤周一「二〇世紀の自画像」による)

(注) *分子生物学 II 生命現象を分子のレベルで解析する学問。

*アインシュタイン II ドイツ出身の物理学者。

*脳生理学者 II 脳の機能を研究する人々。

(1) 二重傍線部A～Fのカタカナと同じ漢字があてはまるものを、次の①～④の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

A 連サ||

① サ欺

② サ別

③ 閉サ

④ サ丘

1

B 原ソク||

① 規ソク

② ソク達

③ ソク量

④ ソク縛

2

C 誇チヨウ||

① チヨウ上

② チヨウ面

③ 胃チヨウ

④ 出チヨウ

3

D 致命的||

① 数チ

② 合チ

③ チ験

④ チ熱

4

E フク雑||

① フク習

② 洋フク

③ フク痛

④ フク数

5

F カ題||

① 日カ

② カ災

③ カ去

④ カ庭

6

(2) 本文中の空欄 I・II に入る語として最も適当なものを、次の①～⑥の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

・空欄 I 7 ・空欄 II 8

- ① そこで
- ② しかし
- ③ ちなみに
- ④ また
- ⑤ さて
- ⑥ なぜなら

(3) 傍線部ア「分子生物学が遺伝子操作を可能にしたのである」とありますが、それに関する筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

9

- ① 科学と技術はかつて鋭く対立するものだったが、現代になって互いを補完するものとなり、科学の方がより高度に進化している。
- ② かつてとは違って、現代の科学と技術は深く結びつくものとなっており、科学の成果が新しい技術を生み出すようになってきている。
- ③ 科学は技術による綿密な検証によって進歩してきたが、現代では科学理論さえあれば、技術は必要ないと言えるほどになった。
- ④ 技術は科学の裏付けがあつて初めて成立するものであるもので、科学が進化を遂げれば、それだけ多様な技術を得ることができる。

(4) 傍線部イ「その悲惨な結果の詳細が、すべて予想されていたのではなかったらう」とありますが、その理由を筆者が説明したものととして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

10

- ① 科学技術の発達の速度に対して、それが及ぼす影響やその技術を使うことに関する社会的な議論が追いついていなかったから。
- ② 最先端の科学技術が生み出すものは、人間に大きな損害を与える可能性があるものの、それは偶然性によると考えられたから。
- ③ 極端な時代背景のもと、未熟な科学技術であってもそれを使わざるをえない事情があり、技術のもたらす不利益は無視されたから。
- ④ 当時の社会が、新技術に関して政治的、倫理的に十分判断できず、ほど成熟してはならず、将来の可能性に期待していたから。

(5) 本文中の空欄 III に入る語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

11

- ① 論理的
- ② 精神的
- ③ 伝統的
- ④ 画的

(6) 傍線部ウ「科学技術は両刃の剣である」とありますが、それに関する筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

12

(7) 次の一文を本文中に補う場合、(a)～(d)の中で最も適当な場所はどこですか。該当するところを次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

13

① 科学技術の発達は不可欠であるが、それによって人々が理不尽な被害を受けないよう、制度を設けることで防衛するべきである。

② 科学の進展が人類に大きな災厄をもたらす可能性もあるので、その発展の速度について適切な制約を設けるべきである。

③ 科学は一層の進歩が望まれるが、それが暴走をすることのないように、人類は科学技術を制御する方法を身につけるべきである。

④ 科学による技術発展は更に人々に恩恵を与えるだろうが、人類の破滅につながる場合もあるので、技術を取捨選択するべきである。

〈その廃棄物が環境に及ぼす影響は、長期的にはだれも知らない。〉

① 〈a〉

② 〈b〉

③ 〈c〉

④ 〈d〉

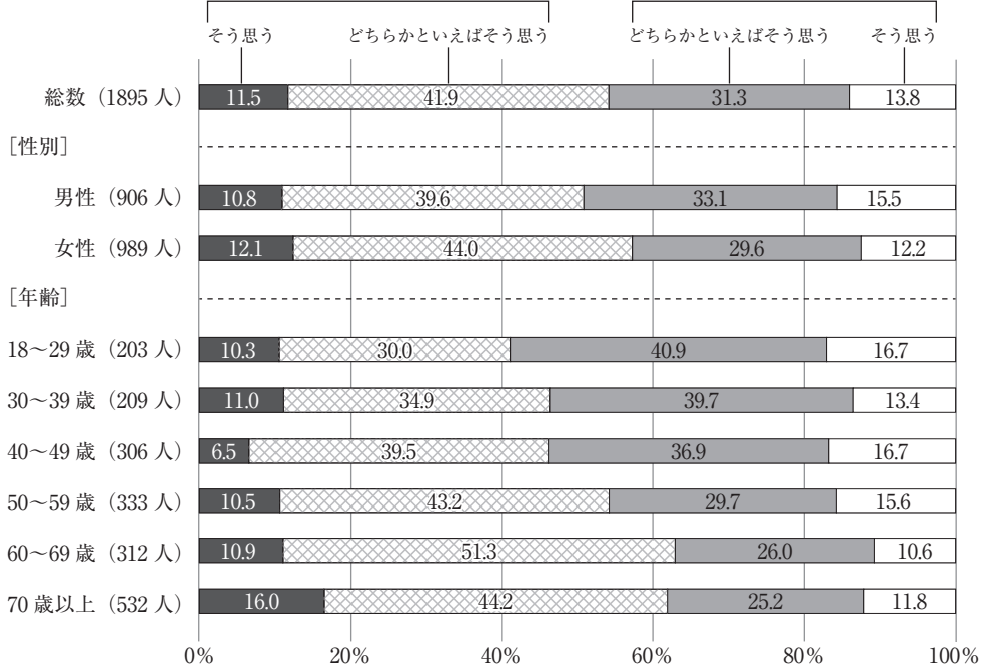
(8) あとの資料は、「今後は心の豊かさや物の豊かさの、どちらに重きをおきたいか」という質問についての調査結果である。本文とこの資料から読み取ることができる内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

14

- ① 「平均寿命が延び、日本社会が急速に高齢化し始めた」と本文にあるように、寿命の心配はなくなったが、年齢が上がるほど物質的な豊かさを求める思いが強くなる。
- ② 「人間に対しはかりしれない利益とともに途方もない損害（の少なくとも可能性）を与える」と本文にあるように、技術が急速に進化しても、心の豊かさを求めるのは女性より男性が多いと言える。
- ③ 「人間の尊厳と幸福への致命的打撃が予想されるところまできた」と本文にあるように、二十代以下の人々においては、物質的な豊かさを求めない考え方が根強いことがわかる。
- ④ 「技術の『進歩』が人間の幸福を約束するという神話の破壊」と本文にあるように、技術の発達によって物が豊かになっても、心の豊かさの面で満足していない人が全体でみると五割以上いる。

〔資料〕「今後は心の豊かさや物の豊かさの、どちらに重きをおきたいか」

物質的にある程度豊かになったので、
これからは心の豊かさやゆとりのある
生活をするに重きをおきたい
まだまだ物質的な面で生活を豊かに
することに重きをおきたい



※無回答はグラフから除いている。

〔内閣府「令和三年度国民生活に関する世論調査」より〕

(9) 本文の展開の仕方として適当でないものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

15

- ① 科学と技術の関連性を中心におきながら考証を進めており、多くの具体例を挙げて文章に説得力をもたせている。
- ② 科学技術の発展に関する注目すべき歴史的事実を挙げることで、文章に正当性や実証性を与える工夫をしている。
- ③ 科学技術から何が生じるか分からないということを、巧みな比喩を用いて表現し読者に印象づけている。
- ④ 科学技術の負の面のみ焦点をあてることで、現代の科学技術が内包する種々の問題を浮き彫りにしている。

(10) 本文の内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

16

- ① 科学や技術は、これまで人々の生活を豊かにしてきたことは間違いないものの、それらが結びつき急速に発達したことによって、人間のあり方そのものに影響を与えるまでになってしまった。
- ② 科学や技術は、医学を中心に多くの発見や発明を生み出してきたものの、人体を怪物につくり替えようとする極端な思想の持ち主が現れかねないために、危険と言えざる側面も持つようになった。
- ③ 科学や技術は、二〇世紀中にかつてないほど進歩したと言えるが、人類にとって有用なものか不要なものか判断するために、来世紀においてはコンピュータによる演算を活用するべきである。
- ④ 科学や技術は、共に大きく成長したことによって、戦前からあった伝統的な技術を追いやる結果を生んだので、次の世代においては科学技術と伝統の調和による成長を目指すべきだと言える。

二 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

諸司もろつかみに詔みことりして、「三月みかの三あたに当りて、将まさに伊勢いせに幸行さいでまさむとす。此これのみ意いを知りて設しこつけ備ひふべし」とのたまふ。時ときに中納言なかつなごん、農務なりはむを妨さげむことを恐おそり、上表あへして諫かんを立つ。天皇てんわう従したがひたまはず。猶なほし幸行さいでまさむとす。是こゝにその蟬せみの冠かぶりを脱ぬぎ、帝みかどに捧たさげ、亦また重ねて諫いさむ。方まさに今は農なりの節ふしなり。行いすべからずといふ。

或あるいは、早あはい災わざはひの時に遭あへば、己おのが田いの口くちを塞ふたがしめて、水みづを百姓ひやくしやうの田いに施まけり。田いに施まく水みづ既に窮きはまれば、諸天もろあま感あんじしたまひて、龍りゆう神しん雨あめを降ふらしたまふ。唯ただし卿せいの田いにのみ注つぎて、余あまの地ちに落おちらず。堯やう雲うん更さらに曇くもり、舜しゆん雨う還ま注つぐ。諫まことに是こゝれ忠信ちゆうしんの至いたりなり。徳儀とくぎの大きおほきにあればなり。

(「日本霊異記」による)

(注) * 詔して 天皇が命じた、ということ。

* 伊勢 現在の三重県にある伊勢神宮。

* 幸行さむ 天皇が外出すること。「行す」も同じ。

* 上表して 意見書をさしあげて。

* 諫を立つ 高位の人物へ忠告すること。

* 蟬の冠 冠位を示す冠。 * 早災 ひでりが続くこと。

* 卿 中納言のこと。 * 堯雲 慈愛に満ちた雲。

* 舜雨 恵みの雨。

(1) 本文中で、「」が抜けている発話部分があります。その部分として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

17

- ① 「猶し幸行さむ」～「重ねて諫む」
- ② 「方に今は」～「行すべからず」
- ③ 「感応し」～「降らしたまふ」
- ④ 「余の地に」～「至りなり」

(2) 傍線部ア「上表して諫を立つ」とありますが、その理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

18

- ① 天皇は農民の行う仕事に口をはさむべきではないと考えたから。
- ② 忙しい農民のことを思い、邪魔をしたくなかったから。
- ③ 天皇が自分の言葉を見無視して勝手に出かけてしまったから。
- ④ 自分の意見が通らなくなったので、冠位を辞退したかったから。

(3) 傍線部イ「天皇従ひたまはず」の現代語訳として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

19

- ① 天皇は了承ならなかった
- ② 天皇は了承してたまわれた
- ③ 天皇は了承したいと思われた
- ④ 天皇は了承すると言わなかった

(4) 傍線部ウ「施けり」の動作の主体を、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

20

- ① 天皇
- ② 中納言
- ③ 百姓
- ④ 諸天

(5) 傍線部エ「唯し卿の田にのみ注ぎて」とありますが、その理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

21

- ① 田に入れるべき水の無くなった中納言が神にお祈りをしたから
- ② 天皇が来られる前に田を立派なものにするべきだと思ったから
- ③ 自らの損得を顧みず農民に尽力する中納言の姿に感心したから
- ④ 雨が一切降らなくなって多くの農民が困っていると知ったから

(6) 本文の内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

22

- ① 国の繁栄のために自分の信じることを貫いていれば、いずれ他人の目にとまり、より高い冠位を得ることができる。
- ② 政治を行う人は神仏への祈りを欠かさないことも重要であるが、同時に社会を支える労働者への配慮をも示すべきである。
- ③ 高い人徳を備えた者は、思いのままに行動しても自然と理にかなったものとなるので、天皇や神仏の理解が得られる。
- ④ 相手の身分の上下に関係なく、まごころをもって物事を考え、自分の信じることを貫くことが大切である。

(7) 本作品（「日本霊異記」）は平安時代に成立した説話集です。この作品と同じく平安時代に成立した作品として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

23

- ① 『万葉集』
- ② 『竹取物語』
- ③ 『方丈記』
- ④ 『平家物語』

〔三〕 次の漢文を読んで、後の問いに答えなさい。

夫^そ兵^ノ形^ハ象^カ水^ニ。水^ノ之^の

行^ク、避^ケ高^キ而^レ趨^オ下^ニ。兵^ノ之^の

形^ハ、避^ケ実^ヲ而^レ擊^ツ虚^ヲ。水^ハ因^ヨ

地^ニ而^レ制^シ流^レ、兵^ハ因^リ敵^ニ而^レ

制^ス勝^ヲ。故^ニ兵^ニ無^ク常^ニ勢[、]水^ニ

無^シ常^ニ形^一能^ク因^リ敵^ニ変^シ化^ス

而^レ取^ル勝^ヲ者[、]謂^フ之^レ神^ト。

(注) *象||理想とすること。

*虚||敵の手薄な陣。

*実||敵の手ごわい陣。

*能||「〜できる」という意味。

(1) 傍線部①「制」とありますが、漢文中と同じ意味で「制」が用いられている熟語として最も適当なものを、次の①〜④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

24

- | | |
|------|------|
| ① 制止 | ② 節制 |
| ③ 制定 | ④ 制作 |

(2) 傍線部②「兵因敵而制勝」とありますが、これについての説明として最も適当なものを、次の①〜④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

25

- ① 敵を自分たちの兵にひきこめば勝てると教えている。
- ② 敵に味方するふりをすると勝てると指摘している。
- ③ 敵の状況にうまく対応すれば勝つと説明している。
- ④ 敵も同じ力だと考えられれば勝つと宣言している。

(「孫子」による)

(3) 傍線部③「兵無常勢」が「兵に常勢無く」という書き下し文になるように返り点をつけるとき、次のA～Dに適するものを、それぞれあとの①～⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい（同じ番号を何度選んでもよい）。

兵 無 常 勢
A B C D

・ A	26	・ B	27
・ C	28	・ D	29

- ① 一
② 二
③ 三
④ レ
⑤ ㄥ
⑥ 上
⑦ 下
⑧ 返り点なし

(4) 傍線部④「常形」とはどのような意味か。最も適当なものを、次の

- ①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
30

- ① 決まっている形態
② 慣例化した攻撃法
③ 敵に迫る場合の手順
④ 固定化した伝達方法

(5) この文章が伝えようとしていることとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
31

- ① 軍隊は水などの必要な物資を欠かさずにいれば敵に勝てる。
② 軍隊は流れる水のように可変的なものを目指すべきである。
③ 軍隊はその時の地形に合った多様な陣形を組むべきである。
④ 軍隊は敵の状態に合わせて、神に祈りながら戦えばよい。

四

次の(1)～(4)の部首に分類される漢字として適当でないものを、あとの①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1) さんずい

32

- ① 池
- ② 汗
- ③ 酒
- ④ 注

(2) うかんむり

33

- ① 憲
- ② 宝
- ③ 客
- ④ 寒

(3) くさかんむり

34

- ① 落
- ② 暮
- ③ 苗
- ④ 華

(4) りつとう

35

- ① 到
- ② 制
- ③ 前
- ④ 型

五

次の(1)～(4)の意味を持つ故事成語として最も適当なものを、あとの①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1) 小さな差はあるが、たいして変わらないこと。

36

(2) 仲の悪い者同士が同じ場所にいること。

37

(3) 物事の様子や手掛かりがつかめず、迷ってしまうこと。

38

(4) それまで誰もなし得なかったことをやりとげること。

39

- ① 四面楚歌
- ② 推敲
- ③ 朝三暮四
- ④ 破天荒
- ⑤ 呉越同舟
- ⑥ 矛盾
- ⑦ 五里霧中
- ⑧ 五十歩百歩

六

次の傍線部の①～⑧の中から、(1)形容詞・(2)連体詞・(3)形容動詞・(4)名詞をそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- ・やあ、ずいぶん久しぶりですね。①
- ・もしひまなら、家に遊びに来てほしい。②
- ・小さな女の子が悲しい顔をしている。③
- ・目上の人に会ってお辞儀をする。④
- ・それではさっそく参りましょうか。⑤
- ・見事なまでの高さを誇るビルだ。⑥
- ・もつと大きな声で話してください。⑦
- ・どこかに行って休みましょう。⑧

(1) 形容詞

40

(2) 連体詞

41

(3) 形容動詞

42

(4) 名詞

43

